

みんなで作る 安心, 希望, 支え合いのまち 柏

# 柏市第四次総合計画 後期基本計画

概要版



# ごあいさつ



本市のあるべき姿とまちづくりの基本的な方向を示した、総合的かつ計画的な市政運営を行うための指針である「柏市第四次総合計画」が策定され10年が経過しました。

この間、総合計画の基本構想である「みんなでつくる 安心、希望、支え合いのまち 柏」を実現するため、本市は様々な施策に取り組んできました。

これまでの市政運営においては、増加する税収の中で、市民生活をより豊かにするための新たな施策・事業をどう展開していくかが行政の主要な役割であったように思います。しかし、リーマンショックを背景とした景気の一層の低迷と、急速に進行する少子高齢化等により、本市の財政はますます厳しい状況になりつつあり、新規事業に割り当てられる財源も年々減少傾向にあります。

こうした中で、健全な財政運営の堅持を基本としつつ、本市の直面する様々な課題に的確に対応していくため、本計画では、今後5年間で特に重点的に取り組むべき5つの重点テーマを掲げ、分野横断的な視点から取り組むものとします。

また、これまで育まれてきた地域の絆や、市民・市民団体・大学・事業者と行政との協働による取り組みを最大限に活かし、本市を構成するこれらの様々な主体との連携のもとに「将来も安心して住みやすい活力あるまちづくり」に向けて全力で進めてまいります。

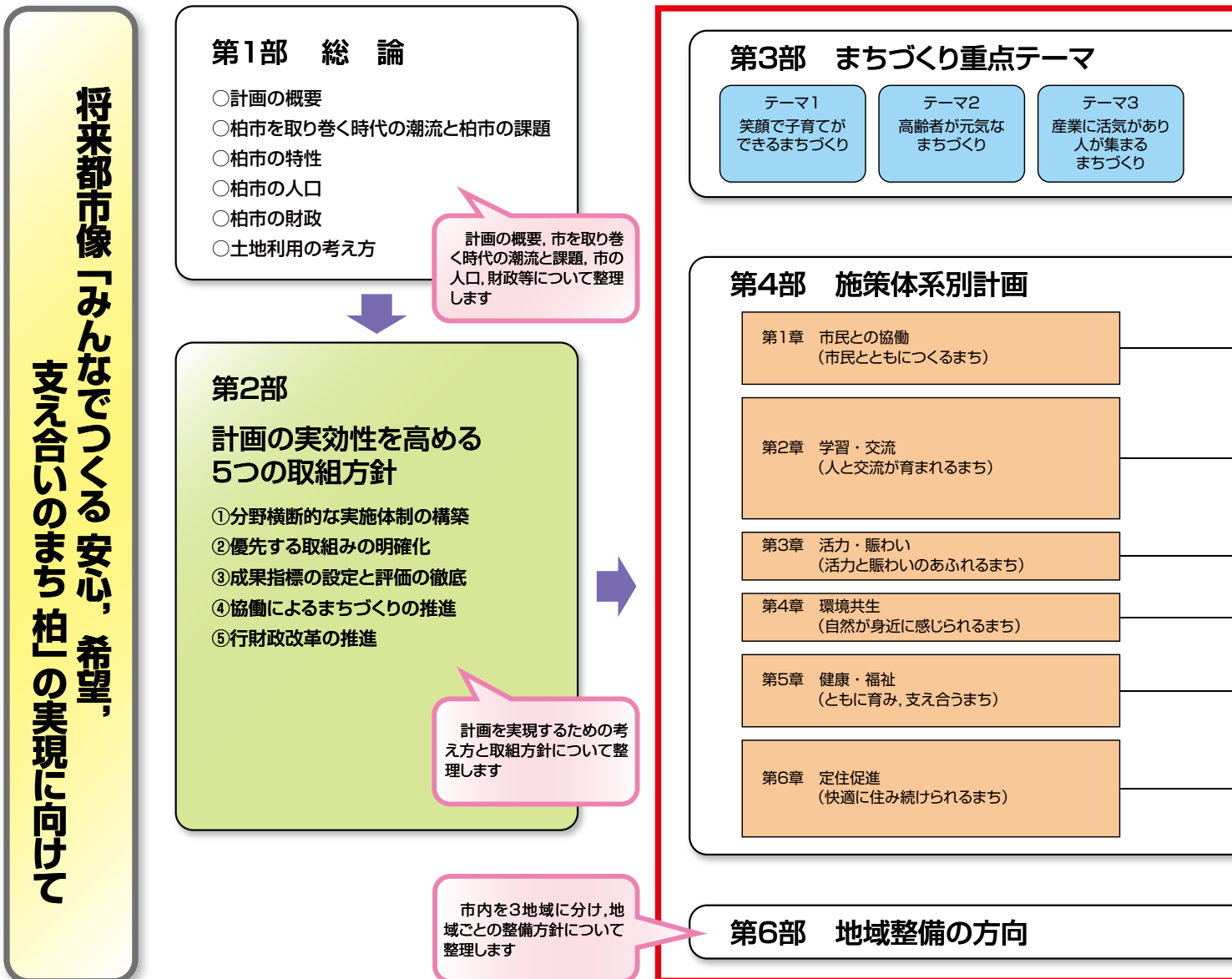
今後とも皆様におかれましては、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、本計画の策定に当たり、多大な御尽力をいただいた柏市総合計画審議会委員の皆様をはじめ、まちづくりワークショップや各種団体ヒアリング調査、市民意識調査、パブリックコメントなどで貴重な御意見、御提言をお寄せいただいた多くの皆様に対し、心から感謝申し上げます。

平成23年3月

柏市長 秋山浩保

## 【後期基本計画の全体構成】



# 目次

第1部	総論	3
第2部	計画の実効性を高める5つの取組方針	7
第3部	まちづくり重点テーマ	9
第4部	施策体系別計画	13
第5部	自立都市実現を目指して	23
第6部	地域整備の方向	23
	姉妹・友好都市とふるさと交流都市	25
	柏のシンボル，柏市市民憲章，平和都市宣言	26



## 第5部 自立都市実現を目指して

○「自立都市」に関する考え方

- 1.健全な財政運営と行財政改革の推進
- 2.効率的な組織運営と人材育成
- 3.公共施設のあり方の見直し
- 4.広域行政への取組み

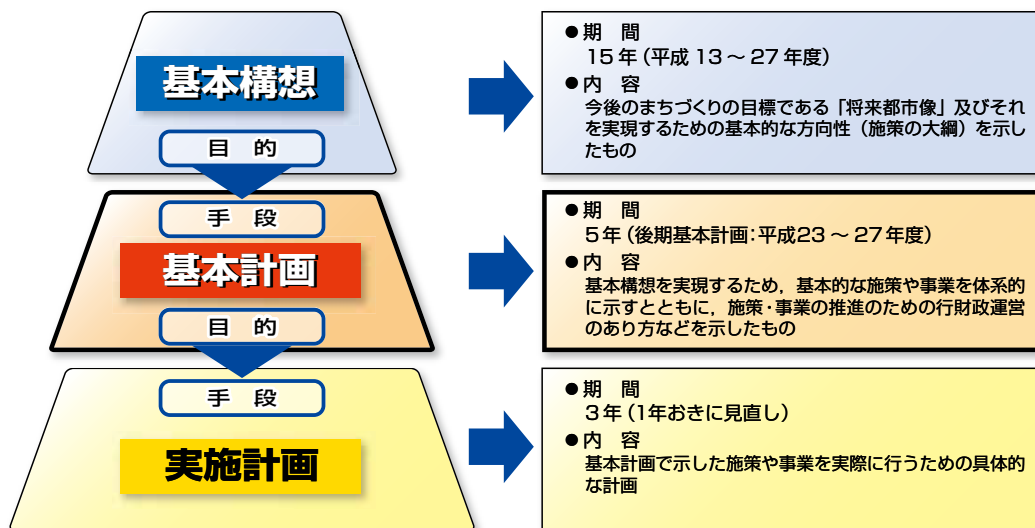
計画を着実に推進するための行財政運営方針と具体的な取組みについて整理します

# 第 1 部 総 論

## ■計画の概要

柏市第四次総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三層で構成されます。基本構想は平成13年度～平成27年度までの15年間を計画期間とし、基本計画は、基本構想の計画期間を前期、中期、後期の三期に分け、一期5か年の計画としています。

今回策定する「柏市第四次総合計画 後期基本計画」は、平成23年度から平成27年度までの5年間を対象期間とした計画となります。



平成(年)	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
西暦(年)	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
<b>基本構想</b> (期間:15年)	→														
<b>基本計画</b> (期間:5年)	→					→					→				
	前期基本計画					中期基本計画					後期基本計画				
	→														
<b>実施計画</b> (期間:3年)	→														

### 《柏市のプロフィール》



## ■ 柏市を取り巻く時代の潮流と柏市の課題

### 社会環境の変化

**(1) 人口減少社会の到来**  
 → 出生率の上昇と人口流入の促進

**(2) 高齢化の急激な進行**  
 → 福祉環境(在宅・施設サービス)、医療環境の充実  
 → 生きがいづくりのための就業機会や活動の場・機会の創出

**(3) 経済環境の悪化**  
 → 企業の経営環境悪化に対する事業者向け支援の充実  
 → 雇用不安に対応するための安定的な就業環境整備

**(4) 地球環境問題の深刻化**  
 → 温暖化防止、環境保全への啓発活動の推進  
 → 地球温暖化に対する各種取組みの推進

### 市民意識の変化

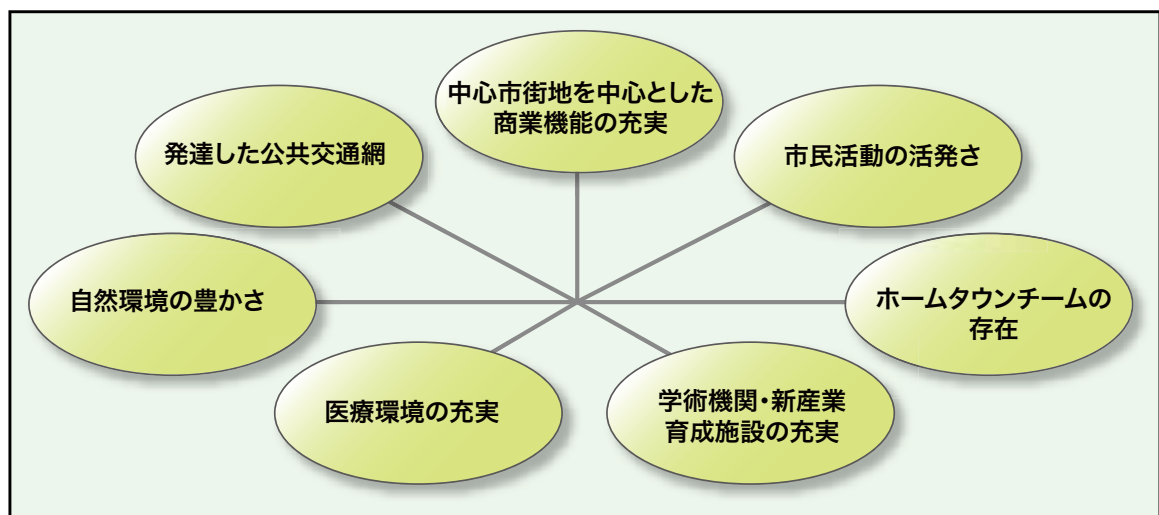
**(5) 安全・安心意識の高まり**  
 → 地域の各主体との連携による地域防犯・防災体制整備  
 → 近隣自治体との広域連携による防災体制強化  
 → 総合的な危機管理体制の構築  
 → 公共施設等の老朽化への計画的な対応

**(6) 市民の意識の多様化**  
 → まちづくりへの市民参加の更なる促進  
 → 市民公益活動団体等への活動活性化支援  
 → 町会・自治会等の地域コミュニティ活動の活性化支援  
 → 住民ニーズの多様化等に対応するための自治体職員の専門性確保と横断的な組織体制の構築

### 地方自治の動向

**(7) 地方分権・地域主権の進展**  
 → 行政経営・政策立案能力の向上と持続可能な行財政基盤の構築

## ■ 柏市の特性



手賀沼



中心市街地(柏駅周辺)



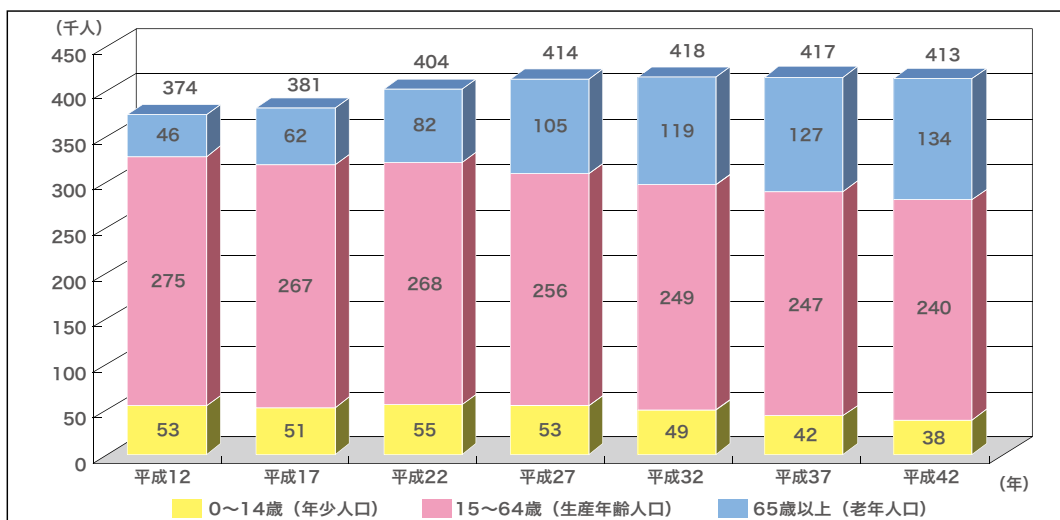
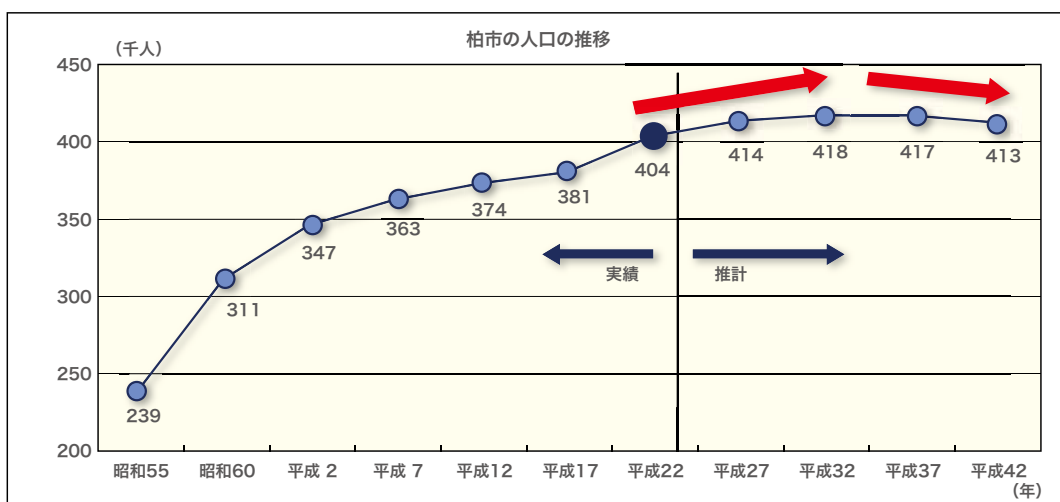
ホームタウンチーム(柏レイソル)

## ■柏市の人口

本市の人口は、今後つくばエクスプレス沿線地区の開発を中心とした人口流入により、しばらくは増加が続くことが予想されます。

しかし、全国的な少子高齢化の流れの中で、人口の伸びは次第に鈍化し、平成32年をピークに、本市の総人口は減少に転じることが予想されます。また、人口構成では、今後団塊世代が生産年齢人口から老年人口へ移行することなどに伴い、高齢化率は急激に上昇していくことが想定されます。

こうした将来的な人口動向を踏まえ、高齢化に対する各種施策や高齢者の健康増進などの取組みの充実を図るとともに、子育て世代が子どもを生き育てやすい環境整備に努めます。また、市の活力向上の観点から、引き続き産業の活性化や広域連携による交流圏の拡大など、交流人口に着目したまちづくりを推進します。



		平成12	平成17	平成22	平成27	平成32	平成37	平成42
総計	人口 (人)	373,778	380,963	404,079	413,933	417,755	417,221	412,872
	0~14歳	人口 (人)	52,822	51,262	54,886	53,389	48,906	42,494
	構成比	14.1%	13.5%	13.6%	12.9%	11.7%	10.2%	9.3%
15~64歳	人口 (人)	274,849	267,227	267,625	255,568	249,363	247,419	240,114
	構成比	73.5%	70.1%	66.2%	61.7%	59.7%	59.3%	58.2%
65歳以上	人口 (人)	46,107	62,474	81,569	104,976	119,486	127,309	134,478
	構成比	12.3%	16.4%	20.2%	25.4%	28.6%	30.5%	32.6%

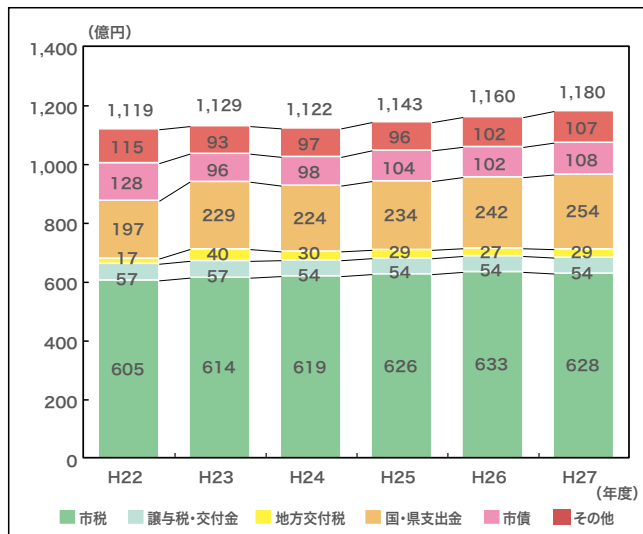
(注) 平成17年までは国勢調査による実績値。平成22年の総人口は国勢調査の速報値。平成22年の年齢階層別人口及び平成27年以降は推計値。年齢階層別人口推計の合計値は、端数処理の関係で総計値と一致しないことがある。

## ■ 柏市の財政

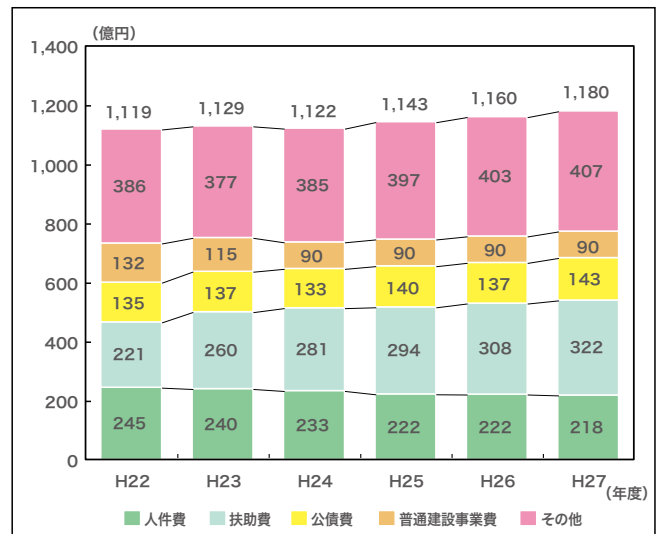
景気低迷の長期化により市税収入が落ち込む一方で、社会環境の成熟化に伴い、社会保障をはじめとする市民サービスに必要な支出が増加しています。このため、財政構造の弾力性（自由に使える財源の割合）を判断する経常収支比率は、平成21年度決算では96.6%にまで上昇しており、財政硬直化の進行が深刻になっています。

積極的な財源確保に努めるとともに、徹底した事務事業の見直しと、事業の選択と集中に基づく限られた財源の有効活用により、財政基盤を強化し、安定的で持続可能な行財政運営を推進します。

【歳入の推移】



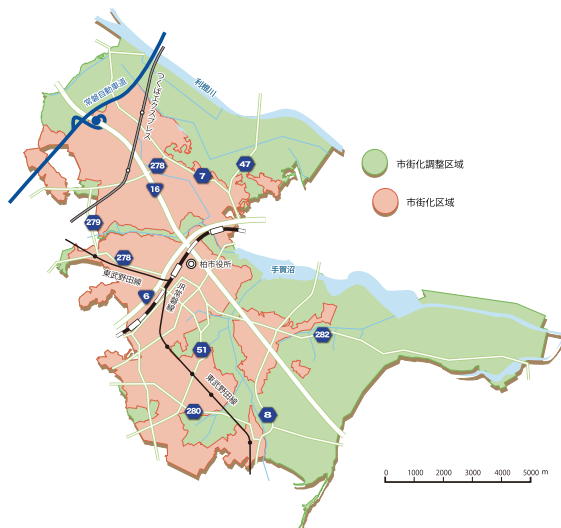
【歳出の推移】



## ■ 土地利用の考え方

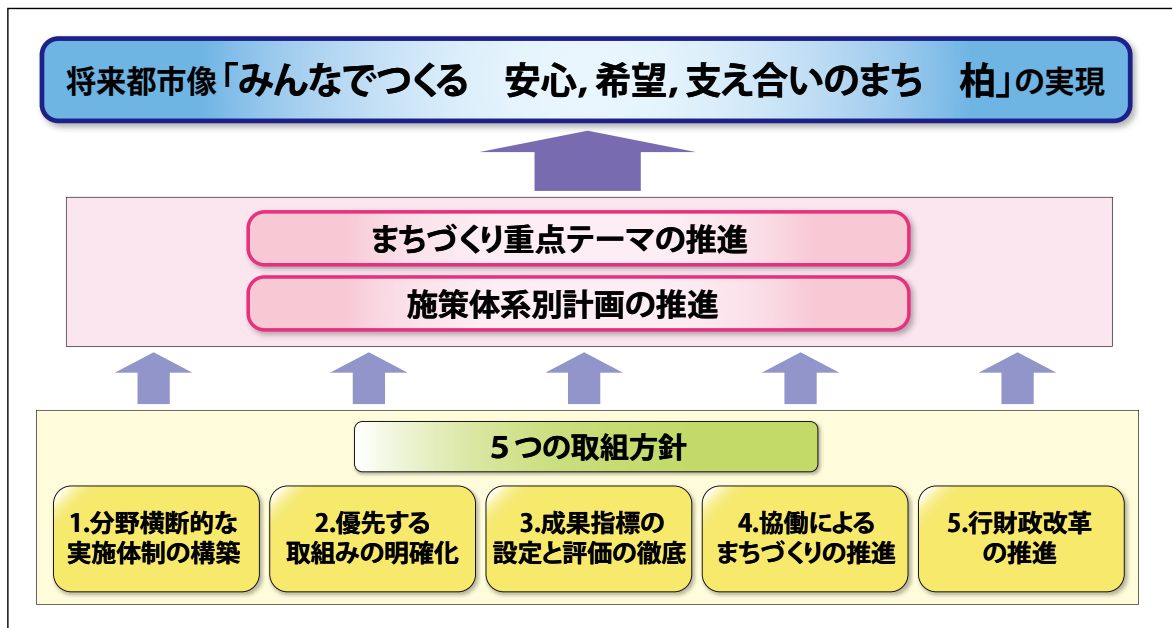
本市の現状や将来の社会情勢等を踏まえ、都市的土地利用を推進すべき地域と、緑農環境の維持・保全を推進すべき地域を適正に配置し、地域特性に応じた土地利用を推進します。

市街化区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。</li> <li>→原則として拡大しないこととします。</li> </ul>
市街化調整区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化を抑制すべき区域。</li> <li>→引き続きその維持・保全を図っていきます。</li> </ul>



## 第2部 計画の実効性を高める5つの取組方針

厳しい財政状況のもとで、健全な財政運営を堅持しつつ、急速に進行する少子高齢化への対応をはじめとした様々な課題に的確に対応していくため、以下のとおり、計画の実効性を高めるための取組方針を掲げ、着実に推進するものとします。



### 取組方針1 「分野横断的な実施体制の構築」

■ 分野横断的な取組みの推進により事業の効率化と事業費の削減に努めます。

「第3部 まちづくり重点テーマ」において5つの重点テーマを設定し、各部署の持つ経験やノウハウを相互に活用し相乗効果を充分に発揮させるため、分野横断的な取組みを推進していくこととし、そのための組織体制の見直しを行うほか、複数部署で行われている類似事業の整理・統合など、各テーマの実現に向けた横の連携強化と効率的・効果的な取組みを推進します。

### 取組方針2 「優先する取組みの明確化」

■ 「優先項目」を明示し優先的に取組むことで計画の実効性を確保します。

各分野において横断的に進めていく中でも、重要性や緊急性などから特にこの5年間で優先して取組むべき施策項目等について、「第4部 施策体系別計画」において明示し、計画期間中は、この優先項目の考え方にに基づき、他の施策に優先して進めることで、財源の有効活用と計画の実効性を確保します。



### 取組方針 3 「成果指標の設定と評価の徹底」

■成果指標を設定し、目標の明確化による着実な取組みの推進と適正評価を行います。

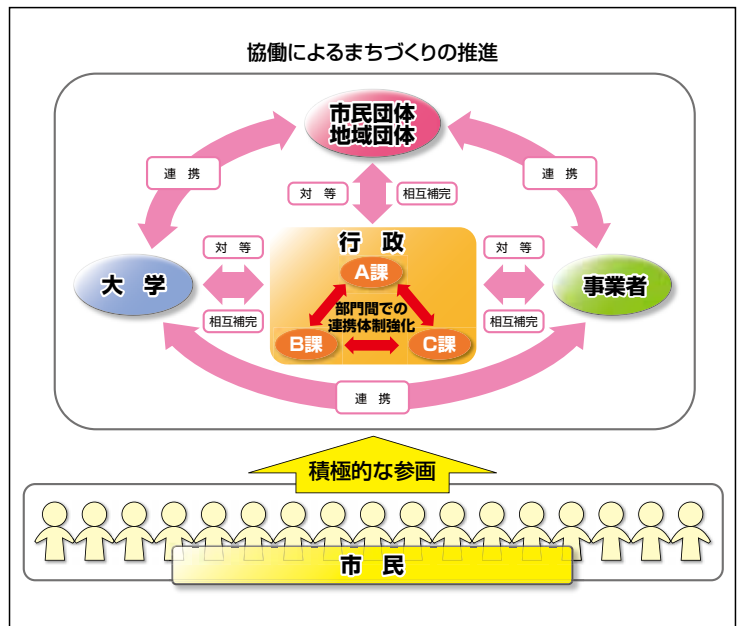
達成度を客観的に判断するための代表的な成果指標を「第4部 施策体系別計画」及び「第5部 自立都市実現を目指して」において数値目標として明確に掲げ、定期的に検証し公表するなど、適切に進行管理を行っていくことで、各施策や事業の着実な推進と結果の適正評価を行います。

### 取組方針 4 「協働によるまちづくりの推進」

■市民、各種団体、大学、事業者等の地域の構成主体とともに「協働によるまちづくり」を推進します。

市民、市民公益団体・地域団体、大学、事業者等の持つ特性を踏まえながら、各構成主体による主体的で自立した取組みを支援する体制の強化とともに、市民が地域活動・市民公益活動に積極的に参加できるよう、市民意識の醸成と市民活動活性化のための仕組みづくりを進めます。

また、行政と各構成主体との適正な役割分担に基づき、公共領域の課題について、お互いが対等な立場で相互に補完しあいながら共通の目標を目指し連携していく、参画と協働によるまちづくりを推進します。



### 取組方針 5 「行財政改革の推進」

■行財政改革を推進し、業務の効率化による財政の健全化と分権型社会に対応した自立都市を目指します。

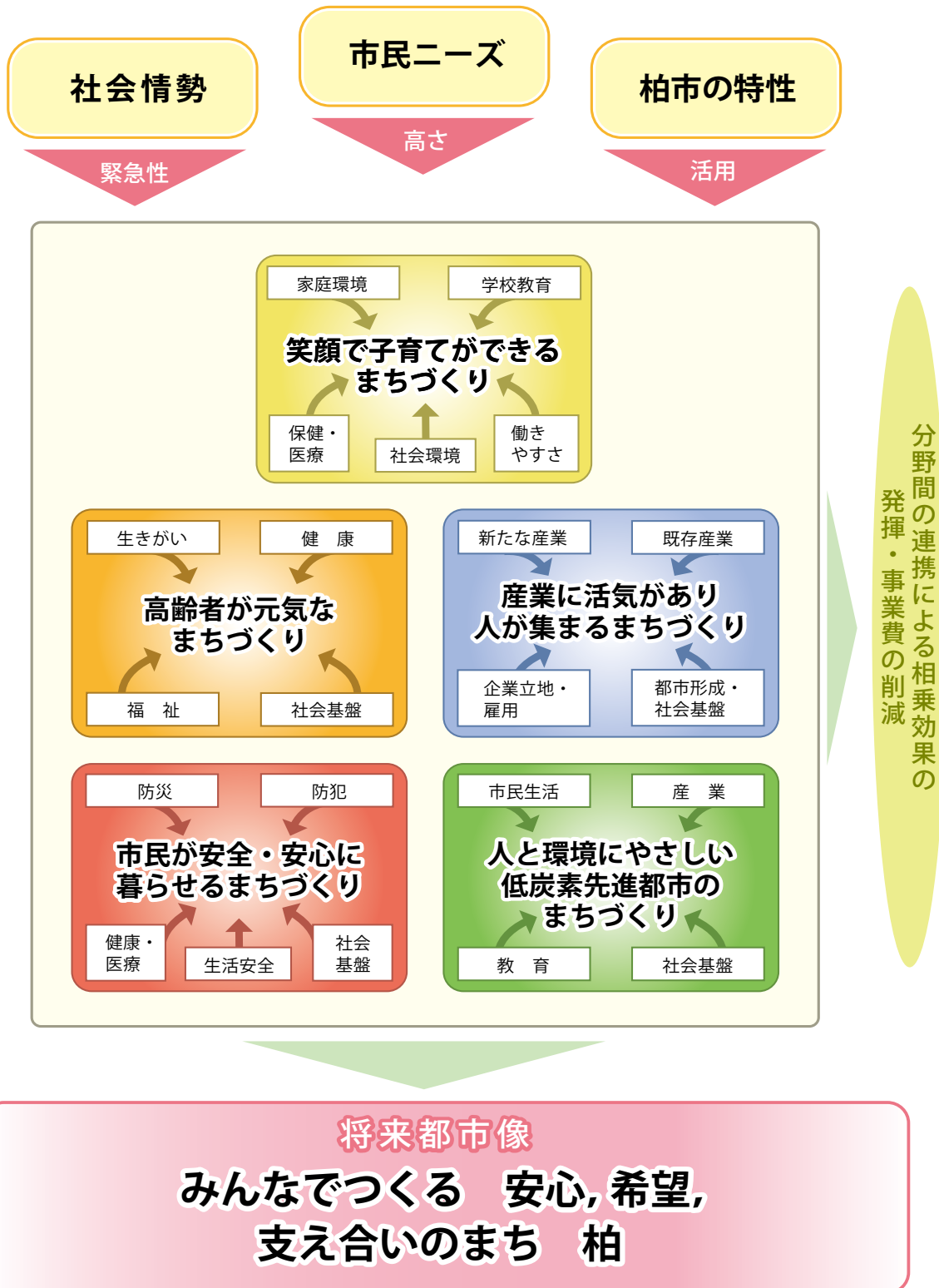
地方分権の更なる進展や中核市移行等を踏まえ、本市の持つ地域特性による強みや様々な人材などの貴重な資源を効果的に活用し、自らの判断と責任のもとで、行政経営の観点から市民満足度の高い行財政運営を行っていくことで、個性かつ魅力ある自立した都市づくりを推進するものとします。

自立都市の実現に向けた行財政運営の考え方と行財政改革等に関する各種取組みについて、「第5部 自立都市実現を目指して」に掲げ推進します。

# 第3部 まちづくり重点テーマ

後期基本計画期間内において特に重点的に取り組むべきテーマを「まちづくり重点テーマ」として掲げ、分野横断的に推進することで、将来都市像「みんなでつくる 安心, 希望, 支え合いのまち 柏」の実現を目指します。

## ◆ 「まちづくり重点テーマ」の概要



## ◆「まちづくり重点テーマ」

1. 笑顔で子育てができるまちづくり
2. 高齢者が元気なまちづくり
3. 産業に活気があり人が集まるまちづくり
4. 市民が安全・安心に暮らせるまちづくり
5. 人と環境にやさしい低炭素先進都市のまちづくり

### 重点テーマ1 笑顔で子育てができるまちづくり

○子育て世帯が「このまちで子どもを産み育てたい」という気持ちを抱ける環境を、地域全体で作りあげていくことが重要であり、『笑顔で子育てができるまち』を目指して、「家庭環境」「学校教育」「保健・医療」「社会環境」「働きやすさ」のそれぞれの視点から以下の取組みを推進します。



#### ◆視点別の主な取組み

視 点	主な取組み	
家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育サービスの充実</li> <li>・情報提供・相談体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習支援体制の充実</li> <li>・子育ての経済的負担の軽減</li> </ul>
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成</li> <li>・個性が輝く教育活動の推進</li> <li>・教職員の指導力の向上</li> <li>・開かれた学校づくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の安全対策の充実</li> <li>・学校施設の耐震化の促進</li> <li>・学校の適正配置，規模適正化の推進</li> </ul>
保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健サービスの充実</li> <li>・予防接種の促進</li> <li>・地域医療体制の充実</li> <li>・市立柏病院の機能の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療体制の充実</li> <li>・救急救命体制の充実</li> <li>・発達のに気になる子どもの支援強化</li> </ul>
社会環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみの子育て支援</li> <li>・子どもの居場所づくり</li> <li>・地域による青少年育成体制の強化</li> <li>・青少年の非行防止と相談体制の充実</li> <li>・市民文化を担う人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるスポーツ活動の振興</li> <li>・ホームタウンチームとの連携</li> <li>・交通事故の防止</li> <li>・児童虐待防止対策の強化</li> </ul>
働きやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の解消</li> <li>・仕事と子育ての両立支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等の就労環境の整備</li> </ul>

## 重点テーマ2 高齢者が元気なまちづくり

○高齢社会の中で、高齢者が精神的にも身体的にも暮らしやすい環境を様々な側面から整備し、高齢者が生きがいを持って元気に柏市で生活していくことができるよう、『高齢者が元気なまち』を目指して、「高齢者の生きがい」「高齢者の健康」「福祉」「社会基盤」のそれぞれの視点から以下の取組みを推進します。



### ◆視点別の主な取組み

視 点	主な取組み	
生きがい	・雇用機会の創出	・生きがいづくりの支援
健 康	・介護予防の推進 ・健康づくり活動の推進 ・スポーツ・レクリエーション活動の推進	・地域医療体制の充実 ・救急医療体制の充実 ・救急救命体制の充実
福 祉	・地域福祉活動の充実 ・多様な生活支援サービスの充実 ・認知症対策の推進 ・権利擁護の強化	・福祉サービスの情報提供・相談・支援体制の整備 ・保健・医療・福祉の有機的連携
社会基盤	・公共空間のバリアフリー化の推進 ・住環境のバリアフリー化の推進	・バス・タクシー等の交通利便性の向上

## 重点テーマ3 産業に活気があり人が集まるまちづくり

○地域特性を最大限に活かしながら、産業面における幅広い支援や関連する都市基盤整備を推進していくことによって、産業が活性化し、定住人口や交流人口増加によるまちの賑わいが創出されるよう、『産業に活気があり人が集まるまち』を目指して、「新たな産業」「既存産業」「企業立地・雇用」「都市形成・社会基盤」のそれぞれの視点から以下の取組みを推進します。



### ◆視点別の主な取組み

視 点	主な取組み	
新たな産業	・産学官連携による新産業創出	・起業家の育成
既存産業	・事業者の経営基盤の安定化 ・市内事業者に関する情報の戦略的発信 ・地域商店街の活性化	・農業者の経営基盤の強化と担い手の育成 ・観光情報提供の充実
企業立地・雇用	・企業立地の促進 ・雇用機会の創出	・就労支援の充実 ・公設市場の再整備の推進
都市形成・社会基盤	・柏の葉キャンパス駅周辺地区のまちづくりの推進 ・柏たなか駅周辺地区のまちづくりの推進 ・柏駅周辺中心市街地の活性化の推進	・鉄道の利便性向上・輸送力増強 ・計画的な都市基盤整備の推進 ・土地区画整理事業の推進 ・市内幹線道路網の拡充

## 重点テーマ4 市民が安全・安心に暮らせるまちづくり

○市民、事業所、関係機関と市が一体となった取組みの推進によって、市民が安全で安心した生活を送ることができるよう、『市民が安全・安心に暮らせるまち』を目指して、「防災」「防犯」「健康・医療」「生活安全」「社会基盤」のそれぞれの視点から以下の取組みを推進します。



### ◆視点別の主な取組み

視 点	主な取組み	
防 災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強いひとづくりの推進</li> <li>・危機管理体制の強化</li> <li>・消防体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道(雨水)の整備</li> <li>・浸水解消事業の推進</li> </ul>
防 犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防犯体制の強化</li> <li>・学校の安全対策の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯啓発事業の強化</li> <li>・防犯関係機関等との連携促進</li> </ul>
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療体制の充実</li> <li>・市立柏病院の機能の充実</li> <li>・救急医療体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命体制の充実</li> <li>・がんと生活習慣病対策の充実</li> <li>・健康危機管理体制の充実</li> </ul>
生活安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の防止</li> <li>・住宅性能・機能の向上</li> <li>・学校施設の耐震化の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した消費者の育成支援の充実</li> <li>・食の安全・安心の確保</li> <li>・騒音・安全対策の充実</li> </ul>
社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共空間のバリアフリー化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路の整備</li> </ul>

## 重点テーマ5 人と環境にやさしい低炭素先進都市のまちづくり

○市、市民、事業者など、社会を構成するすべての主体が強い意識を持って、それぞれの役割に応じた取組みを連携しながら実践していくことで、温室効果ガス排出量の効果的な削減につながるよう、『人と環境にやさしい低炭素先進都市のまち』を目指して、「市民生活」「産業」「教育」「社会基盤」のそれぞれの視点から以下の取組みを推進します。



### ◆視点別の主な取組み

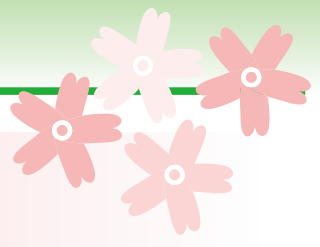
視 点	主な取組み	
市民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策の推進</li> <li>・地域防犯体制の強化</li> <li>・環境汚染の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rの推進</li> <li>・環境美化の推進</li> <li>・緑をまもる取組みの推進</li> </ul>
産 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策の推進</li> <li>・環境汚染の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した農業の推進</li> </ul>
教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境市民の育成・支援</li> </ul>	
社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車利用環境の向上</li> <li>・持続可能な交通体系の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏の葉キャンパス駅周辺地区のまちづくりの推進</li> </ul>

## 第4部 施策体系別計画

施策全体を分野別（施策体系別）に整理し、各施策の基本的な方向性と、その中でも特にこの5年間で優先して取り組む施策を明示します。

### ■施策の体系

章(大分類)	節(中分類)	No.	項(基本施策)
第1章 市民との協働	第1節 情報提供, 市民参加	1	1. 市民参加の促進
		2	2. 市政情報の提供
	第2節 コミュニティ, 市民活動	3	1. 地域コミュニティの活性化
第2章 学習・交流	第1節 生涯学習	4	1. 男女共同参画社会の確立
		1	1. 生涯学習の推進
		2	1. 生きる力を育む学校教育の推進
		3	2. 地域に信頼される学校づくり
		4	3. 学校教育環境の整備
	第2節 幼児教育, 学校教育, 青少年の健全育成	5	4. 青少年の健全育成の推進
		6	1. 文化の振興
	第3節 文化, 文化財	7	2. 歴史・文化財の保全と活用
		8	1. スポーツを活かしたまちづくりの推進
	第4節 スポーツ	9	2. スポーツ・レクリエーション活動の振興
10		1. 国際化の推進	
第3章 活力・賑わい	第1節 都市拠点整備	1	1. つくばイクスプラ沿線地区のまちづくりの推進
		2	2. 柏駅周辺地区の整備の推進
	第2節 商業, 工業, 農業, 雇用, 市場	3	1. 市内事業者の事業環境の整備
		4	2. 新事業の創出支援
		5	3. 都市農業の振興
		6	4. 都市観光の振興
		7	5. 企業立地の促進と雇用環境の充実
		8	6. 卸売市場の活性化
第4章 環境共生	第1節 環境保全, 緑地, 治水	1	1. 緑の保全と創出
		2	2. 治水と親水空間の形成
	第2節 環境整備, 廃棄物	3	1. より良い環境の整備
		4	2. 資源循環型社会の形成
第5章 健康・福祉	第1節 健康づくり, 医療	1	1. 健康づくりの推進
		2	2. 健康危機管理機能と体制の充実
		3	3. 医療体制の整備
	第2節 健康福祉のまちづくり	4	1. 市民とつくる地域福祉の推進
		5	2. 高齢者を支える体制の充実
		6	3. 障害者を支える体制の充実
		7	4. 高齢者・障害者等の自立支援の促進
	第3節 子育て支援	8	1. 母子保健の推進
		9	2. 子育て環境の充実
		10	3. 健やかな成長と自立支援
第6章 定住促進	第1節 都市基盤	1	1. 景観の保全と創造
		2	2. バリアフリーの推進
	第2節 住宅・住環境, 上・下水道	3	1. 住宅・住環境の向上
		4	2. 上水道の整備拡充
		5	3. 下水道の普及促進
	第3節 防災, 消防・救急体制, 交通安全, 防犯, 消費生活	6	1. 防災・危機管理対策の推進
		7	2. 消防・救急体制の向上
		8	3. 交通安全・防犯体制の強化
		9	4. 安心できる消費生活の実現
		10	5. 基地対策の充実
	第4節 交通体系, 市街地整備	11	1. 市街地の整備
		12	2. 総合交通体系の充実
		13	3. 道路網の整備



# 第1章 市民との協働 ～市民とともにつくるまち～

1.市民参加の促進		
市民が主体的に市政に参加し公共の担い手として活躍することで、地域が住みやすく、市民も生きがいを感じられるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○地域活動・市民公益活動の活性化を図ります。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①人口に占める市民活動団体会員数の割合	4.1% (H21年度末)	10%
②協働事業の特定契約数（のべ数）	96件 (H21年度末)	250件

2.市政情報の提供		
市民に必要な情報を市民の視点で分かりやすく伝えることで、市政への理解促進や市民参加が進み、また、市民の意見が市政に反映されるような市民に開かれたまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○広報活動の充実を図ります。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①市政情報の提供についての満足度	49% (H21年10月)	55%
②「市政」への関心度	72.9% (H21年10月)	80%

3.地域コミュニティの活性化		
より多くの住民参加によってコミュニティ活動が組織的・効率的に行われることで、地域の絆が強いまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○地域コミュニティづくり活動を推進する地域人材を育成します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①近隣センターの利用者数	約1,117千人 (H21年度)	約1,272千人
②ふるさと協議会と地区社会福祉協議会の一体化数	14協議会 (H22年度末)	20協議会 (全協議会)
③地域活動団体新規会員数の割合	0ベース (H22年6月)	+207人 (+50%)

4.男女共同参画社会の確立		
人権が尊重され、それぞれが持つ個性と能力を十分に発揮できる男女平等なまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○仕事と生活の調和を目指した環境を整備します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①柏市附属機関の女性委員比率	29.3% (H22年4月)	35%
②啓発事業への若い世代の参加割合	17.2% (H17～21年平均)	50%



市民公益活動団体による清掃活動



タウンミーティング

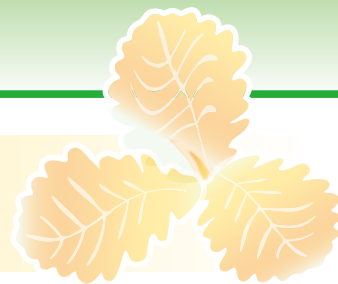


近隣センターを活用した多世代交流



柏市男女共同参画シンポジウム

## 第2章 学習・交流 ～人と交流が育まれるまち～



### 1.生涯学習の推進

市民一人ひとりが自己を高めるために、自分に適した方法で継続的な学習ができ、その成果が地域社会に還元できるまちを目指します。

#### 【特に優先的に進める取組み】

○地域づくりにつながる市民の主体的な学びを支援します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①生涯学習ボランティアの活動件数	217件 (H21年度末)	260件
②図書館の利用者数	690,593人 (H21年度末)	800,000人

### 2.生きる力を育む学校教育の推進

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和が取れた教育を柏市の特性を活かして推進することで、子どもの「生きる力」が育まれるまちを目指します。

#### 【特に優先的に進める取組み】

○知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に努めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①サポート教員が配置されている学校の割合	62% (H22年4月)	100%
②学習情報センターとしての機能をもつ学校図書館設置校の割合	16% (H23年3月)	100%

### 3.地域に信頼される学校づくり

学校が地域の協力とともに運営され、また指導面、安全面など学校内外で子どもを支える体制が整備されていることにより、地域から学校が信頼されているまちを目指します。

#### 【特に優先的に進める取組み】

○教職員の指導力の向上に努めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①教職員への基本的な悉皆研修の実施率	33% (H22年度)	100%

### 4.学校教育環境の整備

すべての子どもが安全で充実した教育環境で学ぶことができるまちを目指します。

#### 【特に優先的に進める取組み】

○学校施設の耐震化を促進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①小中学校の耐震化率	68% (H22年4月)	94%

### 5.青少年の健全育成の推進

青少年活動の活発化や非行防止対策の充実など、青少年が明るく健やかに育つための環境整備を、地域が一体となって推進するまちを目指します。

#### 【特に優先的に進める取組み】

○青少年を育成する地域力を強化します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①地区青少年健全育成推進協議会が設立されている中学校区の数	16中学校区 (H22年3月)	全20中学校区
②青少年相談員連絡協議会及び地区行事への参加者数	2,000人 (H22年3月)	2,200人
③街頭補導における補導件数	609件 (H21年度)	500件

### 6.文化の振興

気軽に参加したり触れ合える環境のもとで、市民が主体となった文化事業が市内各所で展開され、文化の賑わいが感じられるまちを目指します。

#### 【特に優先的に進める取組み】

○市民の自主的な文化活動を支援します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①柏市文化祭の来訪者数	36,000人 (H22年3月)	40,000人
②柏市民ギャラリーの年間入場者数	71,000人 (H22年3月)	80,000人



生涯学習ボランティア研修会



思考力・表現力を高める学習に取り組む子どもたち



## 7.歴史・文化財の保全と活用

市民が柏に関する様々な歴史や文化財に触れ、理解度を高めることにより、地域に愛着を抱くまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○身近に文化財に親しめる機会を拡充します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①郷土資料展示室の入場者数	11,280人 (H21年度)	15,000人
②歴史史料の整理状況	30% (H21年度)	70%

## 8.スポーツを活かしたまちづくりの推進

スポーツ資源をまちづくりに活かすことにより、地域が活性化され、新たな魅力が創出されるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○柏レイソルなどのホームタウンチームを活かしたまちづくりを推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①スポーツフェスタの参加者数	265人 (H22年11月)	300人
②各種スポーツ教室の参加者数	309人 (H22年12月)	400人
③ホームタウン杯に参加する学校の比率	92% (H22年2月)	100%

## 9.スポーツ・レクリエーション活動の振興

身近な場所で気軽にいつでも、どこでも、だれもがスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことのできるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○身近なスポーツ活動の場と機会を拡充します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①成人のスポーツ実施率(週1回以上)	33.6% (H18年7月)	50%
②スポーツ施設予約システムの利用登録者数	24,127件 (H22年3月)	30,000件
③学校体育施設開放による利用者数	496,787人 (H22年3月)	520,000人

## 10.国際化の推進

大学、企業、市民活動団体などとの連携を図りながら、外国人にも安心して暮らしやすい多文化共生のまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○異文化理解・多文化共生の地域づくりを推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①「地域の国際化」に関する重要度	35.9% (H21年10月)	50%
②通訳・翻訳ボランティア登録者数	111人 (H22年4月)	145人



アートラインかしわ



スポーツフェスタ



柏市民新春マラソン



友好都市カムデン(オーストラリア)の青少年との交流活動

# 第3章 活力・賑わい ～活力と賑わいのあふれるまち～

## 1. つくばエクスプレス沿線地区のまちづくりの推進

豊かな地域資源を活用しながら、公民学が連携して、独自性が高い新たな取組みを積極的に進める、市の先導的な役割を担う地区を目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○公民学が連携して先進的なまちづくりを進めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
① 柏の葉地区のCO <sub>2</sub> 削減率	2,308千t-CO <sub>2</sub> (平成12年)	平成12年比 10%以上削減
② 柏の葉キャンパス駅1日あたり乗車人員	11,700人 (H22年4月)	20,000人
③ 柏たなか駅1日あたり乗車人員	2,800人 (H22年4月)	4,000人

## 3. 市内事業者の事業環境の整備

事業者が安心して経営できる環境を整え、産業が発展していくまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○市内事業者情報を戦略的に発信します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
① 「ものづくり電子プラザ」サイトへの年間アクセス数	20,643件 (H21年度)	27,000件
② 「るっくふぉ・かしわ」サイトへの年間アクセス数	19,913件 (H21年度)	25,000件

## 5. 都市農業の振興

様々な「つながり」と都市資産を活用し、生業として魅力ある農業が営めるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○農業者の経営力を強化します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
① 一経営体あたりの平均年間事業所得額	494万円 (H18年度・全国平均)	570万円
② 地産地消協力店の店舗数	0店舗 (H22年3月)	130店舗

## 2. 柏駅周辺地区の整備の推進

広域的な商業拠点として、更なる魅力の向上を図ることにより、市民と来街者の両方が「積極的に訪れたい」と感じる、賑わいのある地区を目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○中心市街地の集客力を強化します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
① 柏駅周辺地区の歩行者通行量	79,172人 (H21年3月)	H21年度の数値を維持する

## 4. 新事業の創出支援

学術研究機関や行政との連携、実証実験への参画などを通して、市内事業者が新たな事業に挑戦でき、また多くの起業家が生まれ、集まり、成長するまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○産学官連携による新産業の創出を支援します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
① 企業における技術開発課題等の相談件数	46件 (H21年度)	60件
② インキュベーション施設への入居率	92.5% (H22年6月)	100%

## 6. 都市観光の振興

市内にある多様な観光資源を活用する仕組みづくりと、その魅力を発信する情報提供機能の充実を図り、多くの人々が交流し、訪れるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○観光情報を積極的・効果的に発信します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
① 柏市への観光入込客数	3,457千人 (H21年度)	3,630千人 (5%増)



東葛テクノプラザ



柏駅周辺地区の賑わい（二番街）

## 7. 企業立地の促進と雇用環境の充実

企業立地に向けた環境整備と積極的な誘致活動により、多くの企業が立地し、雇用機会も多く確保された、市民が安心して働けるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

- 市内での雇用機会を拡充します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①企業立地促進奨励金の対象立地企業数（のべ数）	4社 (H21年度末)	7社
②ハローワークプラザ柏の月間有効求職者数	3,017人 (H21年度平均)	2,200人

## 8. 卸売市場の活性化

再整備された柏市公設卸売市場において、市と市場に関係する個々の事業者が連携しながら活発に活動し、市民のニーズに応えることができる市場のあるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

- 公設市場の再整備を推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①市場（卸売業者）取扱高	274億円 (H21年度)	274億円

# 第4章 環境共生 ～自然が身近に感じられるまち～



## 1. 緑の保全と創出

これまで受け継がれてきた緑や新たに創出された緑が、将来にわたり良好な状態で維持され、その保全を積極的に推進していく、緑豊かなまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

- 貴重な緑を守る取組みを推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①持続性のある緑地の比率	29.4% (H21年3月)	30%
②1人あたりの都市公園面積	5.56㎡/人 (H21年3月)	6.00㎡/人

## 2. 治水と親水空間の形成

浸水被害の解消を図るために、適切な治水対策を行います。また、自然豊かな手賀沼と、多様な動植物の生息空間があるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

- 自然豊かな手賀沼の再生を目指します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①手賀沼のCOD値（沼中央COD75%値）	10.0mg/l (H21年度)	5mg/l以下
②整備済排水路の総延長	620m (H21年度末)	1,830m

## 3. より良い環境の整備

市が取組む環境施策と市民・事業者が取組むべき環境保全活動について、それぞれが連携し、「ともに生きるために、環境を守り、育て、伝えるまち」を目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

- 市民、事業者と連携し、低炭素社会の構築に向けた取組みを推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①柏市域からの温室効果ガス排出量	2,149千t-CO <sub>2</sub> (H20年度)	2,077千t-CO <sub>2</sub>
②光化学オキシダントが環境基準を超えた日数	81日 (H19年度)	40日

## 4. 資源循環型社会の形成

より環境負荷の少ない、次世代にも継承可能なごみ処理体制の構築を図ることにより、快適で衛生的な都市型生活と豊かな自然環境を身近に感じられるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進に努めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①柏地域の焼却灰等の最終処分場での埋立量	6,682 t/年 (H21年度)	3,500 t/年
②産業廃棄物不法投棄監視パトロールの年間実施日数	246日 (H21年度)	250日



かしわ環境フェスタ



ゴミゼロ運動



# 第5章 健康・福祉 ～ともに育み、支え合うまち～

1.健康づくりの推進		
心身ともに生涯健康で元気に暮らせる環境が整備され、市民も健康維持への強い意識のもとで、積極的に健康づくりに取り組んでいるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】		
○がんと生活習慣病の予防を推進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①がん検診受診登録者数	133,974人 (H22年4月)	180,864人
②メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の比率	25.4% (H20年度)	19.0% (H20年度比△25%)

2.健康危機管理機能と体制の充実		
食に関する問題や感染症などの健康危機事案に関して、平時からの発生予防と発生後のまん延防止が的確にできる体制を整備し、市民の安全・安心が保たれているまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】		
○健康危機管理拠点としての保健所体制を強化します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①監視指導を行っている食品営業施設の比率	42% (H22年3月)	60%
②衛生検査の実施件数	17,680件 (H21年度)	19,500件
③感染症予防啓発活動の実施回数	8回 (H21年度)	20回

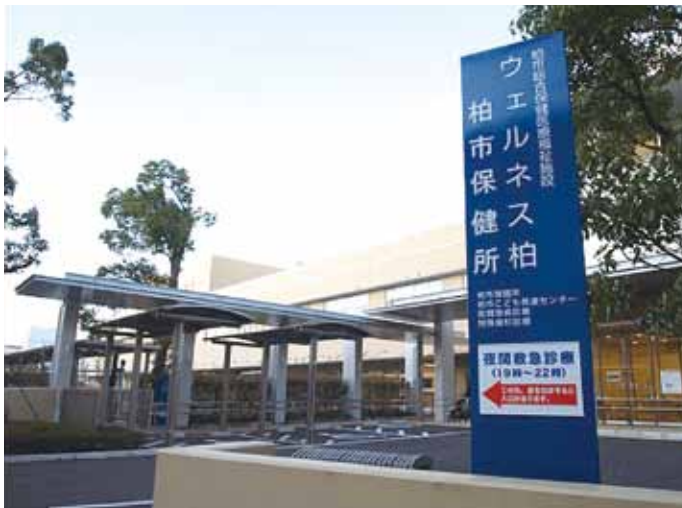
3.医療体制の整備		
関係各機関が連携しながら豊かな医療環境を活かすことで、市民が質の高い医療を身近に受けられるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】		
○市民が安心できる地域医療体制の充実を図ります。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①かかりつけ医を決めている市民の比率	73.6% (H18年度)	80%
②照会1回で救急搬送した比率	92% (H21年)	95%

4.市民とつくる地域福祉の推進		
地域での支えあい活動を、関係団体と行政が連携してネットワークを構築しながら行うことにより、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】		
○地域福祉を支える人づくりを推進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①ふれあいサロンの開催箇所数	147箇所 (H21年度)	300箇所
②地域包括支援センターに寄せられる相談件数	22,784件 (H21年度)	40,000件

5.高齢者を支える体制の充実		
高齢者ができるだけ介護を必要とせず、介護が必要となった場合にも充実したサービスを利用できる環境の中で、すべての高齢者が安心していきいきと暮らせるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】		
○地域包括ケアシステムの充実を図ります。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①要支援・要介護認定者の認定率	12.9% (H22年11月末)	13%台
②介護支援サポーターの登録者数	316人 (H22年12月末)	1,000人



手賀沼ふれあいウォーク



ウエルネス柏



災害時要援護者 避難誘導の風景

## 6.障害者を支える体制の充実

障害のある人が、障害のない人と同様に地域の中で安心して尊厳を持って暮らしていけるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○障害者の相談支援体制を強化します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①ケアプランを作成した障害者の比率	0.3% (H21年度)	20%

## 7.高齢者・障害者等の自立支援の促進

誰もがその人らしく、住み慣れた地域で安心して自立した生活が営めるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○高齢者・障害者の就労を支援します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①高齢者を中心としたコミュニティビジネス立ち上げ支援数	実績なし (H21年度)	10事業
②ハートフルワーク柏を利用して就職した障害者数	実績なし (H22年度)	20人/年
③就労による保護費の減少額	7,000千円 (H21年度)	20,000千円

## 8.母子保健の推進

安心して子育てができ、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○妊娠期、出産早期からの母子保健サービスを推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①新生児訪問の訪問率	60% (H21年度)	70%
②外来療育サービス利用件数	5,612件 (H21年度)	15,000件

## 9.子育て環境の充実

子育て世帯が、仕事と家庭を両立できる環境を整備し、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○待機児童の解消に努めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①保育園の待機児童数	252人 (H22年12月)	0人

## 10.健やかな成長と自立支援

子どもが安心して活動できる環境を地域とともに整備することによって、子どもの社会性が育まれ、子どもが自立して健やかに成長していけるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○子どもの居場所づくりを進めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①子どもの居場所の設置箇所数	16箇所 (H22年3月)	31箇所
②放課後子ども教室の設置数	10箇所 (H22年3月)	23箇所



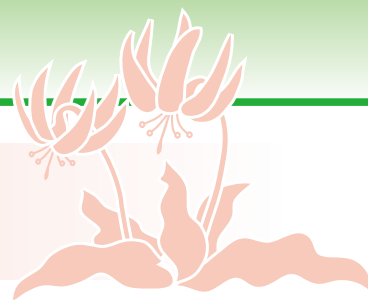
豊四季台西地区サロン「ゆずり葉の会」



保育園の世代間交流



母と子のつどい



## 第6章 定住促進 ～快適に住み続けられるまち～

1.景観の保全と創造		
都市と自然、個と地域など、多様な要素の調和した景観が、市民・事業者・柏市などの協働により守り育てられ、次世代に引き継がれていくまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○柏駅周辺など都市の骨格となる景観の形成を促進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①景観重点地区の指定数	4地区 (H23年3月)	6地区
②パークマネジメントにおけるアクションプラン策定モデル地区数	0地区 (H23年3月)	6地区

2.バリアフリーの推進		
交通機関や公共的施設をバリアフリー化するとともに、市民等のバリアフリー化に対する理解を深め、支え合いの意識を醸成することにより、誰もが安全に、いつでも、どこにでも出かけられるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○公共空間のバリアフリー化を推進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①バリアフリー化された鉄道駅の数	9駅 (H23年3月)	11駅 (全駅)
②ノンステップバスの導入率	74% (H22年3月)	100%

3.住宅・住環境の向上		
安全で快適に住み続けられるように、住宅の耐震化が促進されるとともに、都市環境にも配慮した良好な街並みと住環境が整備されたまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○住宅の耐震化を支援します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①住宅の耐震化率	64% (H19年1月)	84% (H28年3月)
②柏市建築物環境配慮制度届出件数	3件 (H23年1月末)	200件

4.上水道の整備拡充		
健全経営により持続可能な水道事業が確立され、市民から信頼される安全・安心で安定した水が供給されているまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○水道施設の積極的な整備と耐震更新化を推進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①水道普及率	93.3% (H21年度末)	95%
②水道管路の耐震化率	9.2% (H21年度末)	18%
③有収率	93.5% (H21年度末)	94.5%

5.下水道の普及促進		
公共下水道の雨水・汚水整備により、浸水被害が起きないまち、快適な住環境が確保されるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○浸水被害解消を図るため、雨水幹線整備を推進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①床上・店舗浸水被害の軒数	253軒 (のべ件数)	124軒
②公共下水道（雨水）の整備延長	58,420m (H21年度末)	64,220m
③公共下水道（汚水）の普及率	87.4% (H21年度末)	90.2%

6.防災・危機管理対策の推進		
市民の防災対応能力の向上とともに、市民・事業所・関係機関との連携により、災害リスクから市民の安全・安心を守ることができるまちを目指します。		
【特に優先的に進める取組み】 ○災害に強いひとづくりを推進します。		
指標名	現状値	H27年度末目標値
①自主防災組織の結成率	76.9% (H23年3月)	85%
②DIG災害図上訓練実施率	20% (H23年3月)	100%



住環境が整備された街並み



地域防災訓練（バケツリレー）

## 7. 消防・救急体制の向上

市民一人ひとりが安心して暮らせる、安全性の高い消防救急体制が整備されたまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○初動体制を強化します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①消防車の出動から放水開始までの所要時間	5分42秒 (H19~H21年の3か年平均)	5分15秒
②救急入電から救急出動、病院収容までの所要時間	32分12秒 (H21年)	30分00秒

## 8. 交通安全・防犯体制の強化

市民一人ひとりが高い防犯意識を持ち、地域の見守り合いと犯罪が起こりにくい環境整備を行うとともに、交通事故の防止を図ることにより、誰もが安全・安心を実感できるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○市民による自主防犯活動の更なる普及促進に努めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①エンジョイ・パトロール登録者数	5,300人 (H21年度末)	7,100人
②町会・自治会等による自主防犯組織数	132組織 (H21年度末)	150組織
③交通安全教室の受講者数	29,365人 (H21年度)	31,000人

## 9. 安心できる消費生活の実現

市民が賢い消費者として自立し、消費者被害を未然に防ぐことで、安心して安全に生活することができるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○自立した賢い消費者の育成を支援します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①消費者被害に対する救済率	9.13% (H21年度)	17%
②消費者教育を受けた市民数	77,491人 (H21年度)	84,000人

## 10. 基地対策の充実

騒音被害の軽減と事故防止への取組み等により、基地周辺住民の生活環境の安定及び福祉の向上を目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○騒音・安全対策の充実を図ります。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①騒音等による苦情数	56件 (H21年度)	40件

## 11. 市街地の整備

土地区画整理事業などを推進することで、都市機能と居住環境のバランスを図り、環境にも優しいまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○計画的な都市基盤整備を推進します。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①沼南中央地区の都市計画の進捗度	0% (H22年4月)	100%
②組合施行の土地区画整理事業の進捗率	77.4% (H22年4月)	100%

## 12. 総合交通体系の充実

公共交通の利便性を高めることで、自動車に多くを依存しない選択性の高い交通体系を構築し、温室効果ガスの排出を抑制した、人と環境にやさしいまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○バス交通の利便性を高めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①バス交通の課題を抱える地区数	4箇所 (H22年度)	0箇所
②駅周辺の1日あたり放置自転車数	413台 (H21年度)	330台

## 13. 道路網の整備

良好な道路機能の整備・維持により、安全で快適な生活環境が持続できるまちを目指します。

### 【特に優先的に進める取組み】

○交通利便性に配慮した主要幹線道路の整備を進めます。

指標名	現状値	H27年度末目標値
①都市計画道路整備率	約36.6% (H21年3月)	37.6%



国道16号呼塚交差点付近の渋滞

## 第5部 自立都市実現を目指して

地方分権の進展や厳しい財政状況を踏まえ、限りある財源の効率的・効果的な活用と、中核市の権限を最大限に活かし、様々な主体が連携し合い、本市ならではの特色を活かしながら地域のまちづくりを協働で行うことで、個性かつ魅力ある自立した都市づくりを推進するものとします。

ここでは、自立都市実現に向けた取組みのうち、市の行財政運営において取組む事項について整理します。

### 1. 健全な財政運営と行財政改革の推進

- 中期的視点に立った健全で効率的な行財政運営の推進により、安定して持続可能な行財政基盤の構築を目指します。

指標名	現状値 (H21年度)	H27年度末 目標値
①経常収支比率	96.6%	95%
②財政基盤強化度	5.5%	10%
③将来負担比率	110.3%	85%

### 2. 効率的な組織運営と 人材育成

- 各部署や担当の垣根を越えた横断的な組織運営と、職員が能力を十分に発揮できる人材育成に努めます。

### 3. 公共施設の あり方の見直し

- 公共施設の安全性確保とともに市民サービス向上を基本とした公共施設の適正配置と有効活用に努めます。

### 4. 広域行政への取組み

- 市民の生活圏の拡大に対応した行政サービスの提供と効率的な行財政運営を図るため、近隣自治体等との連携・協力による広域行政への取組みを推進します。

## 第6部 地域整備の方向

市内の各地域の資源や課題を踏まえ、各地域の特性を活かしたまちづくりを進めながら、地域間の連携や機能の補完によって、バランスの取れたまちづくりを目指すことが必要です。

ここでは、市域を「北部ゾーン」「中央ゾーン」「南部ゾーン」に区分し、ゾーンごとに今後のまちづくりの方向性について整理します。

なお、まちには連続性があることから、各ゾーンの境界については、明確に線で区切るのではなく、互いに重なり合うようなとらえ方をします。

【土地ゾーニング図】





## 北部ゾーンの整備方針

- 柏の葉キャンパス駅周辺地区においては、緑地や水辺などの自然環境と共生しながら、市民・企業・自治体・大学等の連携・交流による先進的なまちづくりを推進し、国際学術研究都市・次世代環境都市の実現を目指します。
- 柏インター周辺地区では、交通利便性を活かし、産業拠点等の整備を進めます。
- 柏たなか駅周辺地区では、都市農業と共存する田園都市づくりを進めます。
- 土地区画整理事業の推進により、環境に配慮した良好な居住環境を確保します。
- 緑園都市構想の考え方にに基づき継続性のあるまちづくりを進めます。



## 中央ゾーンの整備方針

- 柏駅周辺地区は本市の中心市街地であり、広域商業拠点としての役割を強化するため、商店街の活性化支援、商業・業務機能の集積、再整備を進めるとともに、道路や交通環境など都市基盤整備の充実を図ります。
- 高齢化の進行に対応したまちづくりの観点から、多様な世代の居住推進や高齢者が生きがいを持って活動できる環境づくりなどに取組みます。
- スポーツやアートなどを活かした本市ならではの都市文化を創造し、柏ブランドとして情報発信していきます。
- ライプタウン構想の考え方にに基づき継続性のあるまちづくりを進めます。



## 南部ゾーンの整備方針

- 沼南地域については、柏駅、北柏駅方面への主要幹線道路の整備や交通アクセスの円滑化を図ることで一体的なまちづくりを推進します。
- 手賀沼周辺地域の農業や観光・レクリエーションの振興により、豊かな自然と快適な生活環境が共生する活気に満ちたまちづくりを進めます。
- 土地区画整理事業等により、潤いと安らぎのある居住環境の整備と産業活動を支える都市基盤整備を促進します。
- 南部方面における浸水被害の解消に向けたインフラ整備を進めます。
- 緑住都市構想及び沼南地域整備方針の考え方にに基づき継続性のあるまちづくりを進めます。



# ■姉妹・友好都市とふるさと交流都市

## 姉妹都市

### トランス市 (アメリカ合衆国・カリフォルニア州)

1973年(昭和48年)に「姉妹都市」となって以来、青少年の交換派遣や市民同士の草の根交流など、幅広い分野での交流活動は高い評価を受けています。面積は約54平方キロメートル、人口は約15万人で、アメリカ西海岸のさわやかな気候の地に、工業・商業・住宅地域がバランスよく発展した美しいまちです。市の中心部には大規模商業施設である「デル・アモ・ファッションセンター」があり、沢山の観光客、地元市民が訪れ賑わいをみせています。



## 友好都市

### 承德市 (中国・河北省)

1983年(昭和58年)に「友好都市」となり、青少年の交流などで友好を深めています。河北省東部の山地の中にあり、関東地方よりも広い面積約4万平方キロメートルという広大なまちです。人口は約370万人。中国の十大勝地の一つとして国外にも名声を馳せ、年間550万人以上の観光客が訪れます。中でも、清朝の時代、皇帝が夏に政務を行った「避暑山荘」と、それを取り巻く寺院の「外八廟」が有名です。1993年(平成5年)から柏市と柏市みどりの基金が承德市緑化事業の援助を行っており、「友誼林」「日本柏市植物園」などが整備されています。



### グアム (アメリカ合衆国准州)

1991年(平成3年)に「友好都市」となり、中学生交換派遣や柏まつりなどを通じて交流を深めています。東京から南へ2,500キロメートル、マリアナ諸島南端に浮かぶ常夏の島で、約16万人が暮らしています。青い海とジャングルなどの自然が豊かな観光地として有名で、年間100万人を超える観光客が訪れ、日本からも手軽に行くことができる海外リゾートとして定着しています。



### カムデン町 (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)

2005年(平成17年)沼南町との合併により、「友好都市」になりました。旧沼南町では、1997年(平成9年)に「友好都市」となり、青少年の交流などを通じて交流を深めていました。人口約5万5千人、面積約206平方キロメートル、シドニーとキャンベラの間に位置し、羊毛の産地として知られるほか、ワインの生産も盛んに行われています。



## ふるさと交流都市

### 只見町 (福島県南会津郡)

平成6年に柏市制施行40周年を記念して「ふるさと交流都市」の関係が結びました。人口は、約4,900人ですが、747.53平方キロメートルという柏市の約6.5倍の面積を持つ、豊かな自然に囲まれたまちです。夏は田子倉湖での釣り、冬はスキーや「ふるさと雪まつり」など、自然にふれることができるレジャーやイベントが多く、柏市民がこれに参加したり、小学生が林間学校を訪れるなどの交流を行っています。



### つがる市 (青森県)

旧柏村と平成6年に柏市制施行40周年を記念して、「ふるさと交流都市」の関係結び、イベントへの参加や特産品の販売などの交流を行ってきました。旧柏村が平成17年2月に木造町、森田村、稲垣村、車力村と合併し、「つがる市」となったことから、平成17年7月、改めて「つがる市」と「ふるさと交流都市」を締結しました。つがる市は、青森県の西北部、津軽平野の中央部から西に位置し、南方には津軽の秀峰「岩木山」と世界遺産「白神山地」を望む地にある人口約3万7千人の市です。旧柏村地域は、米とリンゴを中心とした農業が盛んで、樹齢130年を超える日本最古のリンゴの木は、今でも毎年約30箱(600kg)の収穫をもたらす、シンボリックな存在となっています。



### 綾瀬市 (神奈川県)

平成17年7月、「姉妹都市」の関係が結びました。綾瀬市は、旧沼南町と昭和42年(当時は綾瀬町)に、ともに自衛隊の基地があり、人口も同じくらいということで、「姉妹友好都市」の提携を行いました。綾瀬市は、神奈川県のはほぼ中央、都心から約40キロメートルに位置しています。市北東部には面積の約6分の1を占める厚木基地があります。



# 柏のシンボル

## 〇市章

柏市の発足にあたって市民から募集し、昭和29年11月に制定されました。ひらがなの「か」「し」「わ」の3文字を組み合わせた図案です。



## 〇市の木：カシワ

新しい葉が出るまで古い葉が落ちない縁起のよい木として知られ、名称が市名と一致していることから、昭和45年11月に選定されました。



## 〇市の木：椎（シイ）

平成17年3月28日、沼南町との合併により、市の木に加わりました。旧沼南町では、昭和45年9月に町の木に制定されました。これは、昭和48年に開催された千葉国体の記念事業として、各市町村の木を選定することになり、町民から親しまれている「椎（シイ）」の木が選ばれたことによるものです。



## 〇市の鳥：オナガ

柏市制施行40周年を記念し、平成6年11月に制定されました。翼と尾が美しい灰青色でほかの鳥と区別しやすく、庭先や公園でもよくみられます。



## 〇市の花：シバザクラ

柏市制施行40周年を記念し、「みんなで広める花」として平成6年11月に選定されました。ふやし方や手入れも簡単で、広く市民に親しまれています。



## 〇市の花：カタクリ

柏市制施行40周年を記念し、「みんなで守る花」として平成6年11月に制定されました。逆井の群生地は市の文化財に指定されています。



## 〇市の花：ヒマワリ

平成17年3月28日、沼南町との合併により、市の花に加わりました。旧沼南町では、明るく住み良い町のイメージとして、大地にしっかり根をはり、太陽に向かって伸びる躍動感が21世紀に向けて発展する沼南町を象徴していることから、平成2年9月に応募総数316点、72種類の中から選定されました。



### 柏市市民憲章（昭和49年9月20日制定）

わたくしたちは、豊かな緑と水をまもり、潤いのある住みよい柏をつくるために、この憲章を定めます。

- 1 たがいに話し合って、心のかよう明るい柏をつくりましょう。
- 1 老人を敬い子どもを愛する、あたたかい柏をつくりましょう。
- 1 環境をととのえ、安全できれいなまち・柏をつくりましょう。
- 1 教育を重んじ、健康で、文化の薫り高い柏をつくりましょう。
- 1 国際理解を深め、平和な柏をつくりましょう。

### 平和都市宣言（昭和60年3月20日制定）

わたくしたちは、「国際理解」と「平和な柏」を市民憲章にうたい、人類共通の願いである世界の恒久平和を希求している。しかし、最近における国家間の紛争や軍備拡張などによる緊張の高まりは、市民生活のうえに不安をもたらしている。

わたくしたちは、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、将来にわたってわが国が非核三原則を堅持するとともに、すべての国の核兵器廃絶と軍備縮小の達成を訴えるものである。

わたくしたちは、日本国憲法に掲げる崇高な「恒久平和」の実現のために、ここに平和都市を宣言する。



柏市第四次総合計画  
後期基本計画

柏市第四次総合計画 後期基本計画  
《概要版》

平成 23 年 3 月

発行：柏市 編集：柏市企画部企画調整課

\* 計画の本編は柏市ホームページでご覧いただけます。